



ごみのない島
 美しい島づくりのため

「レジ袋ゼロ運動」 キャンペーン

「レジ袋ゼロ運動」に役立ててほしいと、東芝(株)から寄付されたマイバッグ1400枚が、佐渡市連合婦人会、佐渡消費者協会に渡されました。



主な内容

平成19年度 施政方針・主な事業…2～5	佐渡市人事……………8～9
市の財政状況をお知らせします……6～7	「レジ袋ゼロ運動」にご協力を……………10

など



平成19年度 施政方針・主な事業

美しく、

環境にやさしい島づくり



高野市長が、3月市議会定例会の冒頭で発表した平成19年度施政方針(要旨)をお知らせします。

はじめに

合併から4年目に向かって、行政自らが率先して行動し、地域を大切に、目配り、気配りの行き届く行政運営ができる行政組織や職員の意識改革、そして、市民と協働できる社会をつくり、「美しく、環境にやさしい島づくり」を進め、「賑わいの島づくり」に向け努力していきたいと考えています。

【1】人々がふれあう島づくり

(1) 目が届く行政

地域における要望事項、地域振興項目等を住民の皆さまと共に考え、必要に応じて担当職員が訪問する出前市役所を実施します。

(2) 市民との協働について

行政とともに公益を担うNPO法人や各種市民団体の自立性を尊重し、活動しやすい環境づくりのため、仮称「NPO支援センター」の設立に向けた

取り組みを進めます。

(3) 自立できる地域社会

市の所有する公共施設の運営にあっても、行政が行うサービスマネジメントを市民の力をお借りしながら適正な規模に近づけるため、市民Tズを踏まえながら抜本的に見直したいと考えています。

主な事業

NPO等支援事業

60万7千円

佐渡おこしチャレンジ事業

地域住民等が自ら考え、行う、佐渡おこしチャレンジ事業の実施を促進します

4000万円

【2】美しく、環境にやさしい島づくり

(1) 環境について

「佐渡市環境基本計画」が将来像として掲げる「美しい島 佐渡」をつくるため、より良い環境づくりにみんなで取り組み、「豊かな自然と共生する島」、「地球と共にあゆむ島」、「安全でうるおいと安らぎのある島」、「歴史と伝統・文化を守り誇れる島」、「環境を守り育てる人が暮らす島」の実現を目指します。

(2) トキとの共生について

本年度から、順化施設で野生に戻すための訓練を開始します。



「生きものと人・共生の里シンポジウム」を開催し、トキの野生復帰を幅広く島内外にアピールします。

また、休耕田などを活用したトキビオトップ整備助成事業を実施します。

【3】ゴミ対策、リサイクル対策について

「レジ袋ゼロ運動」を全国に先駆け全市一斉で実施し、「ごみの減量化とマイバツクの持参率向上を目指します」。

また、本年予定されている海ごみサミット開催にあわせ、海岸一斉清掃等の運動を実施したいと考えています。



佐渡島クリーンアップ・大作戦

【4】新エネルギーについて

木質バイオマスの利活用について新エネルギーへの取り組みが実証段階に入りました。一般家庭や事業所への普及を進め、地球温暖化防止と未利用バイオマス資源の活用を図ります。

主な事業

トキビオトップ整備助成事業

957万2千円

白色トレイおよび廃乾電池等の

全島リサイクル推進事業

2489万5千円

農地・水環境保全向上対策事業

6200万円

【3】活力のあるまちづくり

【1】地域再生について

地域住民・地域経済団体・行政が丸となって、循環型社会の機能再生と地域のブランド化を進め、産業振興に向けた事業を地域再生計画に基づいて支援したいと考えています。

【2】観光について

本年度から佐渡観光ルネサンス事業として、芸能の島プロデュース事業をはじめとする9事業に着手します。

世界遺産登録を目指すまちづくりにふさわしい景観形成事業を今後5年間で進めます。

また、航路で結ばれている対岸3市との広域連携を強化し、県内をはじめ首都圏等への宣伝展開を図るほか、佐渡市東京事務所等と連携した事業を積極的に推進します。

【3】空港の整備について

大都市と航空路による直行便を開設し、経済の拡大や人的交流の促進

を図ることは、佐渡市の発展にとって不可欠です。

新佐渡空港の整備促進に向けて、県と連携し、全力を挙げます。

【4】東京事務所との協働について

首都圏における郷土会や首都圏佐渡連合会の方々の力をお借りし、ふるさと佐渡へ、島外企業の誘致運動や佐渡出身者の里帰りキャンペーンを推進します。

主な事業

まちづくり交付金事業

8500万円

廃食油再生化燃料事業

306万3千円

【4】市民への健康増進、保健・医療・福祉への取り組み

【1】健康づくり

「健康さど21」計画に基づき、市民の健康意識の向上と心身共に健康な生活が送れるよう保健活動に取り組みます。

【2】医療について

医師確保については、「医師養成修学資金貸与事業」や「県医師確保促進支援事業」を継続して実施するとともに、医師確保のアクションプランを立て、県内外の医科大学や病院等を訪問して医師確保に努めます。

また、市立病院の経営健全化に努

め、佐渡総合病院に対しては、可能な範囲で支援協力を行います。

【3】福祉について

地域の福祉を総合的に推進するため、佐渡市「地域福祉計画」の策定を目指します。

障がい者福祉については、自立・社会参加へ向けた活動を積極的に推進します。

高齢者福祉については介護予防の取り組みを進め、20年度開設を目指した老人保健施設の整備を進めます。

主な事業

老人保健事業

1億7763万2千円

高齢者生活支援事業

5126万7千円

障がい者福祉サービス

1億3377万2千円

ファミリーサポートセンター

運営事業

子育て支援を希望する人と、支援したい人が会員となり、お互い助け合う有償ボランティアのネットワーク作りをします

250万円

【5】安全・安心なまちづくり

【1】消防体制の充実について
高規格救急車の整備、救急救命士を計画的に養成するとともに、市民



に対する応急手当の普及啓発を進めます。

AED(自動体外式除細動器)について、不特定多数の人を収容する施設への設置を促進します。

また、消防団員の活動を支援する装備の充実や、活動条件の整備に努めます。

(2)市民と協働した防災対応について
各地域での自主防災組織づくりを支援し、地域力の強化に努めます。

(3)防犯対策について
地域に住む市民一人ひとりが安全・安心なまちづくりの担い手として行動していくことが、防犯対策の基本と考えます。
また、地域と連携した学校の安全管理に努めます。



主な事業

消防防災施設等整備事業

10億6780万2千円

地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業

学校内や登下校時の不審者対策として、地域ぐるみで学校安全パトロールを実施し、防犯対策に努めます
662万8千円

【6】生活しやすい島づくり

(1)交通基盤の整備について

交通渋滞による影響調査や、幹線道路の整備を推進します。
安全・安心な交通基盤確保に努めます。

(2)市街地の整備について

市民と協働して「佐渡市の都市計画に関する基本的な方針」の策定に取り組みます。

また、両津港北埠頭開発は、広く市民とも意見交換をしながら、港湾計画の変更手続きに向けて取り組みを進めます。

(3)景観に配慮したまちづくりについて

景観計画の策定とその実現のための景観条例の制定に取り組みます。

(4)地域情報化の整備について

テレビ放送の難視聴地域の解消とデジタル化への対応、さらに携帯電話

の不感地域解消や要援護高齢者の支援などを図るため、ケーブルテレビ施設の整備を進めます。

(5)水道・下水道の整備について

水道事業の使命は、安全で安心でできる水の安定供給にあると考えます。施設整備を図り、水道料金についても市民のご理解のもと統一化に向けて進めます。

下水道事業については、市内全域での汚水処理が可能となることを目指します。

主な事業

都市計画マスタープラン策定事業

土地利用、緑地、防災、公共施設の整備等についての基本計画を策定します

1096万8千円

ケーブルテレビ施設整備事業

15億1009万円

【7】豊かな暮らしについて

(1)農業の振興について

本年度から、品目横断的経営安定対策が始まります。集落営農組織の設立、または再編の実現に向けた集落リーダー活動を支援したいと考えています。

また、継続可能な地域営農体制整備を図ります。

畜産事業については佐渡和牛増産

振興事業を新設し、飼養戸数・頭数の増を図ります。



試験放鳥をひかえ、トキと共生できる環境づくりを

(2)環境保全型農業推進について

トキと共存する水田農業への取り組みを認定し、特別栽培農産物認証制度の面的拡大と、佐渡米のブランド化や販売促進に取り組みます。

「農地・水・環境保全向上対策」では、効果が高い共同活動や農業者同士の先進的な営農活動に対して支援します。

(3)林業の振興について

高性能林業機械を活用し、森林組合と一体で間伐施策を進めます。

また、「鬼太鼓の森づくり」事業に取り組みます。

(4)水産業の振興について

海洋深層水を活用して、種苗生産施設で育てたクロアワビの稚貝を放流・育成し、漁業所得の向上につなげたい



と考えています。

また、効率的な漁港の整備と環境に配慮した漁港海岸保全施設の整備を実施します。

(5) 商工業の振興について

島内産業の事業拡大に向けた支援と、新分野への展開を視野に入れた事業標準の策定に取り組みます。

(6) 企業誘致について

進出企業の特性に応じた奨励制度の充実と、企業誘致を積極的に推進します。

主な事業

中山間地域等直接支払推進事業	4億8948万円
鬼太鼓の森づくり事業	180万円
漁港整備事業	7億2300万円
地域資源活用活性化事業	1217万9千円

(8) 教育への取り組み

(1) 学校教育について

地域との協議を進め、理解を得ながら学校統合を進めることが大切と考えています。

また、20年度の中高一貫教育校の開設で、特色ある教育活動を期待できると考えています。



最大の露頭掘り跡である道遊の割戸

(2) 生涯学習について

「生涯学習推進計画」に基づき、公民館講座の実施や情報提供等を充実させます。

また、地域子ども会の活動事業を推進します。

(3) スポーツ振興について

20年度からの10年間におけるスポーツ振興計画を策定します。総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。

(4) ときめき新潟国体について

来年の競技別リハーサル大会への対応を始め、各競技施設の整備や改修を進めます。

(5) 文化・歴史資料等の保護について

「佐渡伝統文化研究所」を教育委員会所属の施設として設置します。

(6) 世界文化遺産の登録について

文化庁や佐渡金銀山遺跡調査委員の指導のもと、構成資産の国指定に向けての調査・研究に取り組むとともに、暫定リストへの登録を目指します。

(7) 専門学校の誘致について

20年の専門学校開校を目指し、調整を行っています。伝統文化と環境の島として特徴的な学科の設置を目指し、併せて若者の定住を目指したいと考えています。

主な事業

小学校校舎・体育館改築事業	4億3600万円
第64回国民体育大会開催事業	3301万3千円
世界遺産文化財指定事業	6161万6千円
専門学校等上位校誘致事業	1億9128万1千円

(9) 確かな行政サービスについて

(1) 行政改革について

職員数の適正化を図るとともに、組織についても機能的・効率的な行政運営が行えるよう見直しを進めます。行政評価システムの導入について、事業の重点化、選択等を行い、来年度以

降の施策形成へ連携させます。

(2) 人材育成について

職員の資質向上のため、研修制度や人事交流を行うネットワークの拡大等を行い、人材の育成に努めます。人事考課制度を導入し、「努力と成果が報われる」適正な人事管理を行います。

主な事業

施設解体事業	4800万円
その他の主要事業	1400万円
全国・離島ゲートボール親善大会事業	7497万5千円
交通安全施設整備事業	1500万円

おわりに

この美しい島を愛し、子々孫々に残すことを心に銘じて財政指標の判断を的確にし、情報の開示を行います。市民の皆さまと議論をしながら今までの「あれもこれも」から「あれかこれか」を目指す必要性を訴えていきたいと思えます。新年度も市民と協働の島づくりに邁進します。